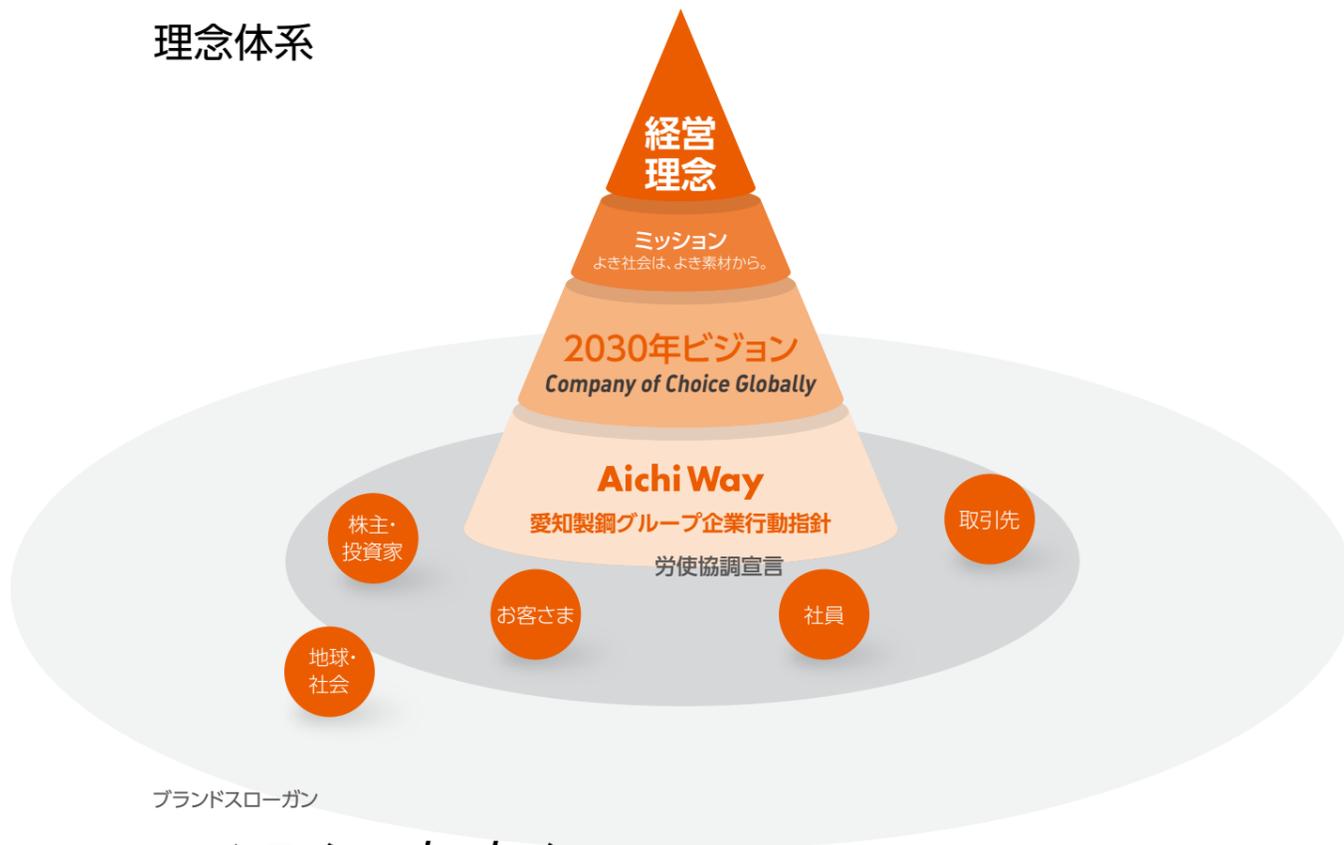


### 経営理念

国際的視野に立ち、活力に溢れ、信頼される企業体質をもとに、魅力ある商品を提供することによって社会に貢献する。

- 1 研究と創造につとめ、常に時流に先んずる。
- 2 相互の信頼と理解のもとに、一致協力する。
- 3 責任ある判断と行動のもとに、常に最善を尽くす。

### 理念体系



ブランドスローガン

つくり、未来を。  
つくり、素材で。

「素材を原点に、付加価値を与えて部品やシステムに進化させ、モノづくりの可能性を広げる会社」になる意志を社会に対して表明。

ロゴのオレンジ色のドットは、「素材で未来の中心を支える」当社の姿を象徴的に表しています。



ブランドサイト

### CONTENTS

#### 01 会社紹介

- 01 経営理念/理念体系
- 03 素材で未来をつくる  
愛知製鋼のDNA
- 05 愛知製鋼グループ概要

#### 07 トップコミットメント

#### 13 目指す姿

- 13 価値創造プロセス
- 15 重要課題(マテリアリティ)

#### 19 特集

- 19 ①収益基盤の強化
- 21 ②サステナビリティ経営の進化

#### 27 価値提供の基盤

- 27 人的資本
- 33 製造資本
- 35 自然資本
- 39 知的資本
- 41 社会関係資本
- 43 財務資本

#### 45 事業戦略

- 45 鋼カンパニー
- 47 ステンレスカンパニー
- 49 鍛カンパニー
- 51 スマートカンパニー

#### 53 ガバナンス

- 53 コーポレートガバナンス
- 58 社外取締役インタビュー
- 59 取締役・監査役の紹介
- 60 リスクマネジメント
- 61 情報セキュリティ
- 62 コンプライアンス

#### 63 コーポレートデータ

- 63 財務ハイライト
- 64 非財務ハイライト
- 65 主要財務データ
- 67 企業情報・株式情報

#### 編集方針

本統合報告書は先の見えない不透明な時代においても、愛知製鋼グループが事業を通じて社会課題を解決し持続的な企業価値を向上するために、「何を指し」、「何を課題と捉え」、「何に取り組むのか」を、業績や経営戦略などの財務情報に加え、成長を支える基盤としての見えない資産である非財務情報についてもわかりやすく伝えることで、愛知製鋼グループの中長期的な成長性をご理解いただくことを目的としています。

#### 会計基準

2020年度以前は日本基準、2021年度以降は国際財務報告基準(IFRS)に準拠しています。

#### 対象読者

本報告書は、株主・投資家の皆さま、お客さま、お取引先さま、そして社員・関係会社の皆さまを主な読者として想定しています。

#### 期間・範囲

本報告書は、主に2022年度(2022年4月～2023年3月)における愛知製鋼グループの活動を対象としていますが、必要に応じて一部対象期間外の内容も紹介しています。

#### 報告書/レポート体系



#### 参考にしたガイドライン

- ・GRIスタンダード
- ・国際統合報告フレームワーク(IIRC)
- ・ISO26000(社会的責任に関する手引き)

#### 【見通しに関する記述についての注意事項】

本レポートのうち業績見通しなどは、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づくものであり、内在する不確実性および今後の事業運営や内外の情報変化などによる変動可能性に照らし、実際の業績などが目標と大きく異なる結果となる可能性があります。